

令和7年

第7回仙北市議会臨時会

市政報告

仙北市

令和7年第7回仙北市議会臨時会 市政報告

先月行われた仙北市長選挙において、市民の皆様から再び市長にお選びいただき、10月30日より私の2期目の市政をスタートさせていただきました。

1期目の4年間は、市民の幸福度全国 No,1 の仙北市実現を市政理念に掲げ、直面している課題を一つでも改善、解決するべく全力で市政運営をしてまいりました。

長年の懸案だった固定資産税の課税誤りのは正や、旧市立角館総合病院や中町庁舎の解体、上野庁舎の整備推進、保育料と高校生までの医療費の完全無償化を実現しましたが、財政改善のために上下水道の段階的値上げや、仙北市広報の発行を月1回への削減及び全ページカラー印刷から2色刷りへの変更、また各種補助金や事務事業の見直しなど、市民の皆様に痛みを伴う改革も覚悟を持って進めてまいりました。

これも市議会議員の皆様からの問題提起やご提案、そして議案をご可決して頂かなければ実現することはできませんでしたので、改めて感謝を申し上げます。

また仙北市役所全職員の皆さんとの、この4年間の市政運営への協力と業務遂行のための努力に心から感謝をいたします。そして何よりも市民の皆様からの御理解とご協力がなければ、市政運営はできませんでしたので、衷心より感謝を申し上げます。

現在も人口減少をはじめ、ここ数年の急激な出生数減少による少子化への対策や、待ったなしの角館・田沢湖両市立病院の経営改善、豪雨や火山噴火などの自然災害への備えや、老朽化した公共施設と共に増加している空き家への対応強化、より一層の産業振興の実現など、仙北市が直面している課題は山積しておりますが、2期目も1期目と同様に、「逃げない」、「隠さない」、「嘘をつかない」という市長としての決意をもって課題に向き合い、改善、解決してまいる所存ですので、どうか

市民の皆様、市議会議員の皆様、市職員の皆様からの引き続きのご理解とご協力、ご指導を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

そして幸福度全国 No.1 の仙北市という目的地へ向けて、これからも共に力を合わせて仙北丸を前に進めて参りましょう。

それでは、令和7年第7回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、令和7年秋の叙勲の受章についてです。

11月3日付で第45回危険業務従事者叙勲の発表があり、仙北市では、元大曲仙北広域市町村圏組合消防監の千葉和彦さんが消防功労で瑞宝双光章を受章されました。^{ちば かずひこ}
^{ずいほうそうこうじょう}

この度の受章は、永年にわたる職務の精励や功績、功労が認められたものです。市民の皆さんと共にご労苦に感謝し、心からお祝いを申し上げます。

次に、仙北市の人口動態についてです。

9月30日現在の人口は2万2,445人で前年同月比552人減、世帯数は1万213世帯で前年同月比87世帯減となっております。今年度9月までの出生届出数^{しゆっしょうとどけですか}は25人となっています。前年同時期の出生届出数は37人で、12人減という状況です。また、9月の転入は43人、転出は31人となっています。

次に、一般会計補正予算(第10号)についてです。

補正額は、13億9,496万3千円の追加で、補正後の額は282億7,049万4千円です。補正事業は、8月の大雨により被害を受けた農業用施設・公共土木施設・総務施設に係る災害復旧事業費、大雨災害

復興支援事業費、道路維持補修費、ふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業費、ふるさと仙北応援基金積立金です。地方債補正は変更です。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇災害対策本部の廃止について

豪雨災害への対応のために8月20日午前10時50分から設置しておりました仙北市災害対策本部は、10月17日午後4時をもって廃止としました。

初動対応に引き続き、今後も被害に遭われました市民の皆様に寄り添いながら、農地や河川などの災害復旧に全力を尽くします。

◇クマの緊急銃猟の実施について

10月23日午後0時54分に、仙北市として初めてのクマ緊急銃猟を角館町川原町で実施しクマ2頭を駆除しました。前日からの中市街地に居座るなどクマの行動が危険と判断し、近隣住民と観光客の安全確保を第一に、緊急銃猟の判断を下しました。実施にあたり、市民や観光客及び関係職員にけが人はいませんでした。

緊急銃猟は、今年9月に施行された改正鳥獣保護管理法に基づく制度で、住民の生活圏に危険が及ぶ場合に自治体判断で銃猟許可をするものです。

今後も安全確保のため、緊急銃猟の実施を含め迅速な対応を継続していく所存ですので、ご理解の程お願い申し上げます。

【観光文化スポーツ部】

◇台湾との交流について

10月28日、角館高校と台湾国立師範大学付属高級中学との姉妹校交流が6年ぶりに行われました。台湾から32名の学生と校長先生をはじめとする3名の先生が仙北市を訪れ、授業参加や武家屋敷案内などを通して関係を深めました。農家民宿での2泊の宿泊体験では、オーナーと親密な関わりをすることができて大変お喜びいただきました。

また、10月31日から11月2日までは、北投温泉で行われた台北温泉祭りに参加し、仙北市と玉川温泉のブースを設けたほか、今年は独自の観光セミナーを開催するなど観光誘客を行いました。

今回は市議会議員団のみなさんにもご参加いただきました。北投温泉と玉川温泉は温泉連携協定を締結して14年になります。今後も様々な事業を通して台湾との交流活動をますます活発化させ、地域の活性化につなげていきます。

【農林商工部】

◇第18回仙北市産業祭～秋フェスタ Semboku～について

10月25日から26日まで、角館交流センター並びに市役所角館庁舎第1駐車場を会場に「第18回仙北市産業祭～秋フェスタ Semboku～」が開催されました。

市内農林商工業に関する市民が一同に会し、仙北市の産業振興を目的に開催されたもので、市内農林産物の出品展示や、様々な物販ブースの出店があり、ステージでは技能功労者表彰、市内保育園・こども園の園児によるキッズステージなどの発表が行われ、多くの来場者で賑わいました。

【建設部】

◇国道整備促進期成同盟会及び火山砂防フォーラムについて

私が期成同盟会長を務める国道46号「高規格道路」盛岡秋田道路、また、大曲鷹巣道路の整備促進期成同盟会の両期成同盟会の要望活動を10月28日に秋田河川国道事務所、10月29日に能代河川国道事務所で行いました。

盛岡秋田道路は「生保内～卒田間」の早期計画策定、大曲鷹巣道路では「大観野峠防災」の整備促進を主な要望としました。

今後、秋田県、岩手河川国道事務所、東北地方整備局、そして国土交通省、財務省、内閣官房国土強靭化推進室、地元選出国会議員へ要望活動を行う予定です。

また、10月30日には、北海道洞爺湖町で開催された「火山砂防フォーラム」に幹事として参加しました。

9月17日に、湯沢河川国道事務所のご案内で、事前に直轄砂防事業として秋田駒ヶ岳に建設している砂防堰堤を視察した経緯もあり、同フォーラムを通して、火山の麓に住んでいるものとして改めて砂防堰堤整備の必要性をより強く実感しました。

11月5日には、都内の砂防会館別館で開催された「安全・安心の道づくりを求める全国大会」に参加し、県選出国会議員へ要望活動を行いました。

各期成同盟会の会長として、今後も強力に要望活動をしてまいりますので、議員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

◇角館浄水場からの出火について

10月29日午前10時30分ころ、角館消防職員が所用のため浄水場内で作業していたところ、ポンプ室内で出火を発見し備え付けの消火器で初期消火を行い、10時46分「鎮火した」と報告がありました。

現場検証の結果、ポンプ室内にあったプラスチックコンテナ・段ボール内にありました廃材等が出火場所と判明しましたが、原因は調査中です。

当浄水場としましても、再度同様の火災が発生することのないように、入口の施錠など施設の管理を徹底します。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げました。本臨時会に提案している案件は、報告関係1件、予算関係2件の計3件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げ、市政報告とします。